

最高級の雪質や北海道の大自然と共に、
楽しさ満点のルスツを作り上げる人々が
“ルスツのシゴト、ルスツのこと＝ルスツゴト”を
ご紹介。なかなか知ることのできないウラ話や、
プロフェッショナルのみぞ知る楽しみ方を
こっそりお教えします。

ルスツのシゴト、ルスツのこと。ルスツゴト

#5 Patrol



ルスツのパトロール隊には18人が在籍。素早く正しい判断が求められるので、一人ひとりが臨機応変に対応できるよう指導している。

早期発見や正しい判断で、ゲレンデに潜む危険からお客さまを守ります。

冬期の仕事ではパトロール隊の隊長とチームリーダーを兼任し、お客さまのケガや遭難などのトラブルを未然に防ぐためのゲレンデ管理業務などを行っています。毎日ゲレンデを巡回し危険箇所早期発見に努め、危険だと判断した箇所にはお客さまへの注意を促すためのネットやロープを張ったり、目印となるポールを立ててゲレンデの安全を確保しています。また、早朝にゲレンデを巡回し、滑走が可能かどうかを判断することも私たちの仕事。山では急激な天候の変化も起こるため、早急な判断を求められることもあります。その時々で状況が異なるのでふさわしい判断を下すことはとても難しく、経験を重ねても苦労していることの一つですね。スキーのシーズン外である夏は、遊園地のチームリーダーとして各チームや整備班と協力しトラブルの対処を行うなど、円滑な営業のための統括を担っています。

パトロール



遊園地チームリーダー・
パトロール隊長・
チームリーダー

林将且

HAYASHI MASAKATSU



入社14年目。夏は遊園地営業の統括を担いながら、冬はパトロール隊の隊長として雪山を巡回しゲレンデの安全を守っている。業務以外の休日にも、ほぼ毎日滑走を楽しむほどのスキー好き。

景観の美しさにもこだわりながら 安全を確保したゲレンデで、 私が最高だと感じる滑りを堪能してほしいです。

安全とともに、
景観の美しさや快適さも追求します。

ネットやポールは安全確保のために大切な設置物ではありますが、過剰になってしまうと大自然を味わえるゲレンデのせつかくの景観を損ない、閉塞感を与えてしまいます。そのため、安全を確保できる必要最低限にとどめてきれいに設置することが私たちのこだわりの一つです。また、私がパトロールの機材で最もこだわりを感じるのは、傷病者が出た際に使う搬送用のポート。ルスツで独自に改造を重ね、搬送される方の負担を軽減するよう作り上げた物です。怪我や事故は起きてほしくない事態ですが、ケガで搬送された方から感謝の手紙をいただいたり、パトロール室まで直接お礼を言いに来ていただくこともあり、その時にはこの上ない喜びを感じます。

安全に楽しみながら、形にとらわれない
楽しみ方を見つけてください。

私自身スキーが趣味で、業務で毎日コースを滑走しているのに加え、プライベートでも滑りを楽しむほどです。そのため、ルスツのスキー場には最高のゲレンデやコース、景色にパウダースノーと、全てがそろっていることを滑る度に身をもって感じています。また、ルスツには3つの山に渡る道内最大級のコースがあり、サイドカントリーパークをはじめとする多彩な環境で自由なスタイルの滑りを楽しむことも魅力の一つ。大自然をたっぷりと堪能することができる安全なゲレンデで、形にとらわれない自分なりのスキーの楽しみ方を、冬のルスツに訪れるお客さま全員に見つけていただけたらうれしいです。



軽量化のため、こん棒をアルミで製作。搬送の際の負担軽減のため、プレートによるブレーキを取り付けた、ルスツこだわりの傷病者搬送用ポート。